

みかんへの支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

11月3日は「みかんの日」です。そこで今月は、「みかんの日」にちなみ、みかんへの支出について、家計調査の結果からみてみましょう。

注) 「いいみっか」の語呂合わせから、全国果実生産出荷安定協議会と農林水産省が制定しました。

減少傾向にあるみかんへの支出

みかんへの1世帯当たりの支出金額の推移をみると、徐々に減少傾向にあることがわかります。平成3年では9,334円の支出でしたが、23年では4,337円となり、この20年間で半分以下に減少しています(図1)。

旬の時期の支出も減少

次に、1世帯当たり月別支出金額を10年ごとにみてみましょう。どの年も10月から12月にかけて支出が増え、この時期にみかんが多く購入されています。しかし、最も支出金額の多い12月について、平成3年(3,017円)と13年(1,616円)を比較してみると半分近くに減少し、また23年の支出をみると1,355円とさらに減少しており、旬の時期でも支出が減っているのがわかります(図2)。

年齢階級が上がるほど購入数量が多い

最後に、世帯主の年齢階級別の1世帯当たり年間購入数量をみてみましょう。平成23年の結果から、世帯主の年齢階級が上がるほど、みかんの購入数量は多くなっています。29歳以下の世帯(3,178g)に比べ、60~69歳(15,695g)では4.9倍、70歳以上(17,703g)では5.6倍と、特に世帯主が60歳以上の世帯で、みかんを多く購入していることがわかります(図3)。

図1 みかんへの年間支出金額の推移(平成3~23年)

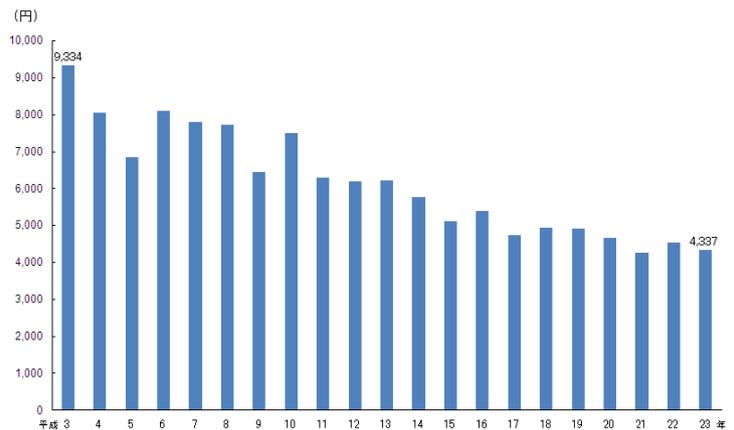


図2 みかんへの月別支出金額(平成3年、13年及び23年)

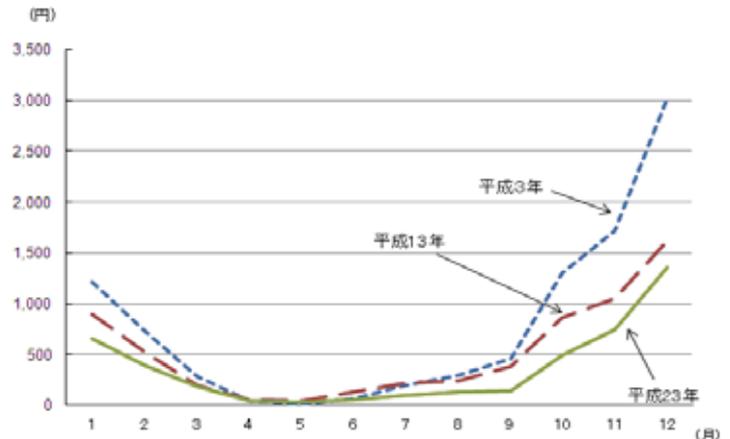


図3 みかんの世帯主の年齢階級別年間購入数量(平成23年)

